

# S.U.N.

No.36  
2025 February

## 躍動する男子体操競技部 2025年インカレで日本一を獲る!



**Catch the future** 就職内定者編

留学のススメ 安心の海外短期研修制度

夢中人 | 研究室より | 同窓会情報

表紙のひと 仙台大学男子体操競技部



仙台大学



# 2024年東日本インカレ優勝・全日本団体3位・種目別でも受賞多数! 「体操大好き!」6選手の素顔をご紹介します、2025年も熱い応援を宜しくお願いします!!

- ① 体操を始めた時期ときっかけ
- ② 本学を選んだ理由
- ③ やりがいを感じる時
- ④好きなこと・好きな食べ物・好きな言葉
- ⑤目標
- ⑥体操大好きなキミへのメッセージ



**「悟空」に憧れて始めた体操、自分の可能性を探求し続けたい**  
**2024年全日本インカレ個人総合3位**  
**2024年全日本インカレ種目別選手権あん馬3位・跳馬2位**  
**佐々木 郁哉 選手**  
 体育学科4年 仙台大学附属明成高校出身

- ① 幼稚園園長から「ドラゴンボール」の孫悟空に憧れ、強たくたくましくなりたいと決まりました。
- ② 高校時代から慣れ親しんだ環境でさらにレベルアップしたいと思ったから。教員免許取得できること、サポート体制の充実も魅力でした。
- ③ イメージ通りの技が成功した瞬間。練習の成果を大会で発揮し、結果が残せた時。
- ④ 古着屋巡り・美味しいもの探し/抹茶、牛タン、アイス/「実るほど頭を垂れる稲穂かな」「無知の知」
- ⑤ 2028年ロス五輪で日本代表として活躍すること。
- ⑥ 真剣に競技に取り組みつつ幅広い分野での学びを深められる環境です。仲間や先生方の支えで自らの可能性を追求できます!ぜひ一緒に夢を追いかけていきましょう!



**多くの人々に支えられて練習できる日々、感謝とやりがい**  
**2024年全日本インカレ種目別あん馬2位**  
**さわもと りゅうへい 選手**  
 体育学科4年 千葉・市立船橋高校出身

- ① 6歳から。幼稚園の体操の授業がとても楽しかったので。
- ② 本学の体操競技のレベルは日本でもトップクラス。全国から集まる実力ある選手たちと切磋琢磨できることや、成長を支えてくれる指導体制が魅力的と感じました。
- ③ 自らの成長を感じる瞬間。「普通に練習できる日々」に感謝とやりがいを感じます。
- ④ ケーキ屋巡り・ツムツム/餃子、ケーキ/「健全なる精神は健全なる身体に宿る」「結果にこだわらな、成功にこだわらな、成長にこだわれ」
- ⑤ 全日本個人総合選手権の決勝進出・NHK杯個人総合出場・全日本種目別選手権でメダルを獲得。
- ⑥ スポーツに関する専門的知識を深め、人としても成長できる環境があります。夢を追いかける仲間と最高の環境であなたの可能性を広げる一歩を踏み出してください!



**新技を成功させ、自分のスキルが一步進んだと感じる瞬間が最高**  
**2023年全日本種目別選手権あん馬2位**  
**あさやま ゆうだい 選手**  
 体育学科3年 愛媛・新田高校出身

- ① 小3の時。運動が好きで、特にバク転に憧れて。
- ② 「床のスペシャリスト」OB南一輝さん(現エムズスポーツクラブ)の存在。種目別、個人総合でも強い本学の環境なら自分もさらに成長できると思いました。
- ③ 試合で最後まで演技を通し切れたときの達成感。・新技を成功させ、自分のスキルが一步進んだと感じる瞬間。
- ④ 温泉でリラックス・睡眠/みかん、唐揚げ、餃子(地元の店の味・スタミナ食が好き)/「ポジティブ」
- ⑤ インカレの団体メンバー入り、団体優勝とあん馬優勝の達成。2025年インカレ全日本であん馬優勝。
- ⑥ 全国でもトップクラスの実績と環境で競技できます。仲間もコーチも頼りになり、成長を後押ししてくれます。一緒に大きな目標に向かって挑戦しましょう!



**全員で努力を重ね、成果を発揮できる団体の勝利は格別**  
**インターハイ種目別あん馬3位**  
**いたはし ゆうと 選手**  
 体育学科3年 大阪・清風高校出身

- ① 2歳の時。基礎体力を身につけようと思いました。
- ② 高校の先輩松見一希さん(仙台大学出身・現徳洲会体操クラブ)に憧れて。体操クラブの先生も本学のOB、競技力向上に最適な環境がある大学と感じたので。
- ③ 大会で思い通り演技ができたり、新しい技をマスターしたと感じたりする瞬間。チーム全員で勝つために努力を重ね、その成果を試合で発揮できた時の達成感。
- ④ 睡眠/コロッケ(練習後に食べると元気が出る)/「核心に触れるまで努力する」
- ⑤ インカレ団体優勝し、さらに高いレベルに挑戦すること。
- ⑥ 競技力を高めてくれる充実の環境に加え、雰囲気もとても良く、仲間と共に成長できる場所です。自分の夢や目標に向かって全力で挑戦できる環境があるのでぜひ一緒に新しい挑戦を試みませんか?



**信頼できる仲間と技を磨き、人として成長できる環境が魅力**  
**2024年全日本種目別選手権跳馬4位**  
**おの りょうき 選手**  
 体育学科2年 栃木・作新学院高校出身

- ① 両親の勧めで5歳で始め、体操の楽しさに目覚め、夢中になりました。
- ② 見学に来た時、仲間同士の絆が深く、切磋琢磨しながら高め合える雰囲気が魅力的に感じて。こうした環境で競技に集中し自分を成長させたいと思いました。
- ③ 練習を積み重ね、技ができるようになった瞬間。
- ④ 音楽を聴くこと/オムライス(デミグラスソースが好き)/「気持ち」常に気持ちを込めて練習や試合に臨むことを大切にしている。
- ⑤ 全日本選手権に出場し、自分の実力を発揮すること。
- ⑥ 普段から仲間とのコミュニケーションが盛んで、心から信頼できる仲間と一緒に競技に取り組める環境があります。自分を磨きたいと思う皆さん、ぜひ仙台大学でその夢を叶えてください!新しい仲間として迎える日を楽しみにしています!



**大学日本一の感動を胸に、2028年ロス五輪日本代表をめざす**  
**2024年全日本種目別選手権ゆか優勝**  
**すずき いちた 選手**  
 体育学科1年 仙台大学附属明成高校出身

- ① 体操選手だった父(本学体操競技部・鈴木良太監督)の影響で体操が大好きになり、小5から始めました。
- ② 競技と学業を両立できる環境。先輩方が築き上げてきた伝統・実績も魅力に感じました。
- ③ 努力が結果として現れた時や技が成功できた時。チームとして目標達成できた時の一体感や達成感は格別です。
- ④ 格闘技の試合観戦・仲間と一緒に楽しむ手料理(特に板橋くんの手料理が絶品!)/「やりたいと思ったら、挑戦するべき」
- ⑤ 日本代表として2028年ロス五輪出場、世界で活躍すること。
- ⑥ 本学には学業と両立しつつ、体操競技に取り組むための素晴らしい環境があります。一緒に夢を追いかけていきましょう!

# 躍動する男子体操競技部 2025年インカレで 日本一を獲る!



## ～鈴木監督に聞く、男子体操競技部の現在地～



**鈴木良太 監督**  
 日本体育協会公認コーチ(体操競技)  
 【競技歴】全日本体操競技選手権大会個人総合3位、2003DTBボカール種目別鉄棒優勝、2004VIS Aアメリカンカップ種目別鉄棒優勝、全日本体操競技選手権大会個人総合3位ほか  
 【指導歴】第58回NHK杯種目別ゆか優勝、第73回全日本体操種目別選手権大会ゆか優勝・男子団体総合3位・女子団体総合7位ほか

**昨年を振り返って**  
 選手のモチベーションが高く、一丸となって戦う雰囲気もあり、練習の成果が実を結んだ年になりました。東日本インカレ初優勝で自信をもつて臨んだ全日本インカレでは、優勝を意識しすぎた面もあり5位でしたが、仙台大学体操部の名が多くの人々の記憶に刻まれ、次につながる流れができたと感じています。

**ゆかで鈴木一太選手がメダリストを抑えて初優勝しました**  
 体操にまぐれはありませんので、「練習通りにできれば勝てる」と常に伝えていきます。鈴木選手が日本一になったことで実力の証明とともに「普段通りの練習を積み重ねれば頂点が手が届く」と全員が再認識できたと思います。

**体操競技の環境について**  
 専用トレーニング場があり、副部長の山口貴久先生(体育学科長・准教授)がアスリートトレーナーでメンテナンスタイプやハビリティを担当するなどハード、ソフトで恵まれた環境にあります。寮生活のため食事や生活面

**2025年、選手に期待することとは?**  
 現在、日本体操のレベルは高く、選手層も厚いため代表争いが熾烈で、ここを勝ち抜ければ金メダルに手が届く状況です。だからこそ、挑戦する価値があります。ぜひ選手たちには手を伸ばして、掴みとってほしいですね。

**体操競技を行う高校生へのメッセージ**  
 目標に向かって粘り強く立ち向かう人間性を養うとともに、個々のめざす目標・レベルに合わせて体操に取り組めるよう支援します。そのため実績よりどこまで成長できるかに重点を置いています。今年度の卒業生9人のうち4人が卒業後も現役を続け、モデルとなる先輩たちと一緒に練習できます。「体操が好き」ならぜひ本学で一緒にやりましょう!

も安心で、団体戦に必要なチームワークも生まれます。全日本のゆかで5連覇したOB南一輝選手は現在も本学で練習を行うなどOBと交流する機会も多く、刺激になります。

2024年の男子体操競技部の躍進ぶりには目を見張るものがある。5月東日本インカレ団体での初優勝、11月の全日本団体で堂々の3位ゆかで鈴木一太選手が日本一、そのほか上位入賞など朗報が相次いだ。そこで、本学体操競技部を率いて16年、数々の優秀な選手を日本体操界に送り出した鈴木良太監督に男子体操競技部の強さの秘訣と2025年の抱負について話を聞いた。

# 一生の宝物を得た充実の4年間 大切なものは 野球が教えてくれた!

～就職内定者編～  
進路/株式会社ユアテック

みやこ ゆうき  
宮古 優希さん

体育学科4年・硬式野球部 青森・八戸工業大学第一高校出身



一番の思い出は  
1軍での練習と新人戦

小学3年から野球を始め、強豪校八戸工大一高に進み、キャプテンとしてチームを引っ張る存在だった宮古さん。野球を続けながら、将来は保健体育の教員をめざそうと考え、本学に入学した。「硬式野球部の部員は約200人、全国から来てい

るので、個性も考え方もさまざまですが、野球が好きという点は一緒なので、すぐ友達になりました。最初不安だった一人暮らしも、友達と食事を作ったり、勉強したり、アルバイトしたりする中で楽しさに変わっていった。「部員の多くが強豪校出身なので、自分よりうまい人を見ると1軍でやっていけるか心配もありました」。それだけに、2年で新人戦メンバーに抜擢された時は、うれしかったという。1軍の練習ではワクワクしつつも「アピールしなくては」といつになく緊張したという。

気持ち切り替え、  
早期から就職活動

新年度になり新入部員が入ってくると、3年でレギュラー落ちに。しかし、どんな時も前向きな宮古さんは「野球だけでメシは食えない。レギュラーになる目標は1度かなったのだから、切り替えて就職活動しよう!」と決めたという。真っ先に行ったのが「第二種電気工事士国家資格」の試験勉強。試験当日まで猛勉強し見事合格する。その後、母校での教育実習前の挨拶に行ったところ「電気工事士の資格を取ったのなら、ユアテックを受けて見たら?」と先生にアドバイスを受けたという。「将来的にふるさとに戻ることも想定し、青森にも支店があり、安定性のある企業であることから、採用試験にエントリーしました」。その結果、はじめて受けた採用試験で内定を得ることができた。



大好きな野球をずっと続けたい

野球を通して沢山のものを得たという。「部活を通して目上の人との接し方、言葉遣いなどが身に付き、コミュニケーションスキルが養われました」。最大の宝物は、4年間ともに時間を過ごしてきた大切な仲間たち。「面接の練習も友達に手伝ってもらったほど(笑)。いろんな場面で助けてもらいました」。ライバルであり、仲間でもあり、切磋琢磨しながら野球を続けてきたことが、これからの人生の糧となるに違いない。「野球を通して得たものがとても大きいです。野球は、打ち方はどうでも、結果ヒットになればいい、人生と一緒ですね(笑)。地元のチームに入るなどして野球はずっと続けていきたいです」と語る。

# 「教職支援センター」の サポートで小学校の先生になる 夢かなえました!

～就職内定者編～進路/小学校教員  
(宮城県大学推薦枠による大学3年特別選考で合格)

そえ た りょう  
添田 涼さん

スポーツ栄養学科4年・レクリエーション部 福島・光南高校出身



子供たちと触れ合う中で  
目標が明確に

小学5年生からバスケットを始め、中・高とで選手として活躍した添田さん。保健体育の先生になりたいの思いと、食の側面からスポーツに関わる栄養士の資格にも

魅力を感じ、どちらの資格も取れる本学に入学した。「大学では部活より資格取得をメインにしようと思い、レクリエーション部に入りました」。レクリエーション部は、地域からの要請で小学校や福祉施設で子供たちの勉強を見たり、ゲームをしたり、ボランティア活動を中心に行っている。「小学生と接する機会が多いので、教員になった時に役立つことが沢山あります」。同じく教員を目指す部員も多く、「一緒に試験勉強をする仲間もできたそうだ」。

新たな目標はミニバスの指導者

大学3年の10月、教職支援センターで「宮城県推薦枠による特別選考の小学校教員採用試験が初めて実施されるから受けてみては?」と声を掛けられた。「勉強を始めたばかりでしたが、せっかくのチャンス、トライしてみようと思いました」。県内から添田さんを含む12人が受験し、筆記試験と、2度の面接の結果、全員合格した。「斎先生には面接の練習を10回以上も行っていただき、おかげで面接試験でも緊張せずに自分の考えを伝えられました」。



教育実習も経験し、来春教壇に立つ日を心待ちにしている添田さん。理想とする教師像は「小さな変化も見逃さず、不安を抱える生徒に声を掛けてあげられる先生」。高校まで続けていたバスケットの経験を生かし、「ミニバスケットボールを指導したい」と意欲に燃えている。

# 一步踏み出してよかった!

## 〈国別・海外短期研修〉感動エピソード&おすすめ度

- 1 海外研修に参加した理由は?
- 2 印象的なエピソードは?
- 3 帰国後の自分の変化は?
- 4 国際交流課のサポートは?
- 5 後輩へのメッセージ

### 教育の先進国で、 3カ所の幼稚園をめぐる 保育体験

あかい さきな  
赤井 咲水 さん  
子ども運動教育学科2年 福島成蹊高校出身



**フィンランド**  
「スポーツ・健康科学分野における短期留学研修プログラム」  
おすすめ度:★★★★★

- 1 スポーツの楽しさを伝えられる保育者をめざしているため、幼児教育の先進国と言われるフィンランドの教育を実際に学び、異文化に触れ視野を広げたいと思ったから。
- 2 3都市で3カ所の幼稚園を回り、現地の園児達と一緒に遊んだこと。言葉が通じなくても笑顔で接して、楽しくコミュニケーションできました。日本とフィンランドの教育との違いもわかり、将来より良い保育を築く上で貴重な経験になりました。
- 3 チャレンジ精神と行動力が身に付いたこと。疑問があればすぐ質問するなど、何事にも積極的に行動出来るようになりました。
- 4 アドバイスしてもらったので不安なことは全て解消できました。宿泊の手続きから現地での活動内容の手配に至るまで国際交流課の方々がいなければ実現できなかったと思います。
- 5 自分自身の成長を感じました。行動をした先にはそこでしかできない体験、世界が広がっています。人生は一度きり、沢山挑戦してください。必ず自分のためになります!

### 最高のプログラム、 学生時代の今こそ いくべき!

おざき こうだい  
尾崎 康大 さん  
健康福祉学科3年 青森・弘前高校出身



**アメリカ(ハワイ大学マノア校)**  
「NATAアスレティックトレーニング研修プログラム」  
おすすめ度:★★★★★★★★★

- 1 学生時代にいろんな経験をしてきたから。留学経験のある高校時代の友人からも「絶対行ったほうがいいよ!」と強く勧められました。
- 2 「筋力トレーニング」の授業で、現地の学生と一緒にトレーニングした時のこと。「3more!」「1more!」などと掛け声で追い込まれ、やめられなかった(笑)。最終日はみんなと一緒にご飯したり遊んだり、すっかり仲良くなりました。
- 3 以前は初対面の人に話しかけるのが苦手でしたが、現地の人たちとコミュニケーション取る中で、物怖じせず、誰とでも話せるようになりました。ハワイの文化や考え方を知って、帰国後も興味を持つようになりました。
- 4 手続きなどわからないことを質問すると、詳しく説明してもらえるので安心でした。
- 5 現地の学生との交流、「アスレティックトレーナー研修」の内容、自由見学、プログラムのすべてがよかったので、ぜひハワイ留学をおすすめしたいです。時間が取れるのは学生時代だけ、今やるべきだと思います。

### 異文化を体験し、 政治にも興味が 広がりました

かたぎり もか  
片桐 萌吹 さん  
現代武道学科2年(空手道部) 宮城県農業高校出身



**台湾(国立台東大学)**  
「協定校短期交換留学研修プログラム」  
おすすめ度:★★★★★

- 1 もともと海外に興味があり、本学には手厚いサポート付きの友好校との海外研修制度があることを知り、ぜひ活用しようと思いました。
- 2 琉球島でダイビングをしたり、緑島でシュノーケリングをしたり、きれいな海で普段できないアウトドアスポーツを堪能しました。また、台湾の夜市をはじめ、食文化が豊かで、どれも美味しく、安価なので、いろんなものを食べ歩きました。
- 3 国によって制度や福祉も異なることを実感し、今の環境にありがたみを感じました。以前は政治に関心でしたが、帰国後は日本の政策について考えたり、広い視野で周りを見たりできるようになりました。
- 4 アルバイトで貯金するだけでは、費用の捻出は難しく、補助制度があったからこそ、初めての海外研修に挑戦できたので、とても感謝しています。
- 5 現地では言葉が通じなくてもスマホやジャスチャーでなんとか伝えようとしてくれました。親日的な人が多いので、安心して過ごせますので、台湾は初めての海外研修におすすめです。

### 大好きな韓国を満喫、 価値観がガラッと 変わりました

よしかわ しゅうへい  
吉川 修平 さん  
スポーツ栄養学科3年(ソフトボール部) 福島・須賀川高校出身



**韓国(龍仁大学)**  
「伝統武道・警護・文化研修プログラム」  
おすすめ度:★★★★★

- 1 中学時代からK-POPアイドル・韓国カルチャーに興味を持ち、実際に韓国の生活を体験してみたい、韓国人と友だちになりたいと思っていました。
- 2 韓国語の授業。土日を除き週5日あり、韓国語だけで行われるため、韓国語を学ぶ楽しさを感じることができました。ソウルでの文化体験では警察博物館、ロッテワールド、南山センター、オリンピックセンターなど多くの施設を見学。現地の方と触れ合う中で日本人に対するリアルな思いを肌で感じる事ができました。
- 3 価値観が変わりました。他の国の状況や食に関する事など興味が広がり、いろんなことに挑戦したい、経験したいという思考に変化しました。
- 4 現地の文化体験施設にも同行してもらいました。体調不良になった時もサポートしてもらい、とても心強かったです。
- 5 価値観がガラッと変わります。海外に行ってみて、現地の人と話してみたいなど少しでも興味があるなら、絶対に行くべきです。費用面ではいろいろなサポートがあるので、国際交流課に相談してみてください。

# 留学の ススメ

## 「世界を見てみたい!」を支える 安心の海外短期研修制度



本学には12カ国において20の教育機関との友好校ネットワークがあり、学生に異文化体験とグローバルな感覚を身に付けるための「海外短期研修制度」を実施しています。ナビゲーターを務めるのは国際交流課。一人ひとりの学生の専門性に合わせた満足度の高いプログラム、きめ細かなサポートで毎年参加者から好評を得ています。

ま どんめい  
**馬冬梅** 国際交流課 課長  
中国遼寧省瀋陽市出身、遼寧大学経済学部国際商務実務学科卒業、仙台大学大学院スポーツ科学研究科修了。修了後、本学大学院事務課に入職し、現在は国際交流課の課長を務める。現在、東北大学大学院医学系研究科博士課程後期に在学中。

Q 留学に対する学生の関心は? 2019年は60人が参加するなど、海外短期研修に対する意欲が高まってきました。そこで、学内で「報告会」を開催し、海外研修を体験した学生がスピーカーとなり、現地での授業や生活の様子、プログラムの内容などを語ってもらう機会を設け、学生に情報発信していました。しかし、新型コロナウイルスのパンデミックにより、残念ながら2020年、2021年と学生を海外に送り出すことができませんでした。2022年には再開し36人、2023年は32人が海外研修を行っています。近年再び海外への機運が高まっていますので、報告会などを通して留学の魅力、制度のメリットを伝えていく方針です。

Q 本学の短期留学プログラムの特徴は? 「スポーツ科学」を軸とした豊富なプログラムがあることです。各国の最新のスポーツ科学を学ぶことができます。加えて、将来像や資格取得に向けた学びができるのも魅力です。例えば、幼児教育の先進国フィンランドで幼稚園を見学したり、ベトナムでスポーツ栄養を学んだり、韓国で警備の最前線を体験したり、本学の特色ある6学科の学びに対応するさまざまなプログラムがあります。日本と海外の比較から学ぶことは多く、自身

の目標も明確になり、将来設計にも役立つと好評です。

Q 海外短期研修制度のメリットは? 海外短期研修では単位認定制度があり、単位として認定されます。また、日本学生支援機構の海外留学支援制度使用額金(2024年度は7プログラムが対象)や同窓会、保護者会などからも費用の一部を補助する制度もありますので、お気軽にご相談ください。

Q 留学を検討している方にメッセージを 帰国した学生が「行ってよかった!」と目を輝かせて報告してくれるときが、私たちにとって最高の瞬間です。留学で新しい体験をしたことで自信になり、何事にも積極的になる学生も多いです。国際交流課では、豊富な実績をもとに、一人ひとりの学びと興味に合った海外留学をサポートしています。留学や海外生活の経験を持つスタッフがいたため、親身なアドバイスができます。世界を見るのは、時間の融通がきく、学生時代がベスト。海外留学を夢で終わらせず、一步踏み出してみませんか?

Q 留学を検討している方にメッセージを 帰国した学生が「行ってよかった!」と目を輝かせて報告してくれるときが、私たちにとって最高の瞬間です。留学で新しい体験をしたことで自信になり、何事にも積極的になる学生も多いです。国際交流課では、豊富な実績をもとに、一人ひとりの学びと興味に合った海外留学をサポートしています。留学や海外生活の経験を持つスタッフがいたため、親身なアドバイスができます。世界を見るのは、時間の融通がきく、学生時代がベスト。海外留学を夢で終わらせず、一步踏み出してみませんか?

Q 留学を検討している方にメッセージを 帰国した学生が「行ってよかった!」と目を輝かせて報告してくれるときが、私たちにとって最高の瞬間です。留学で新しい体験をしたことで自信になり、何事にも積極的になる学生も多いです。国際交流課では、豊富な実績をもとに、一人ひとりの学びと興味に合った海外留学をサポートしています。留学や海外生活の経験を持つスタッフがいたため、親身なアドバイスができます。世界を見るのは、時間の融通がきく、学生時代がベスト。海外留学を夢で終わらせず、一步踏み出してみませんか?

特別支援学校教員と  
全日本インカレ出場  
2つの目標をかなえたい!

まつもと みゆう  
松本 実侑さん

健康福祉学科2年・軟式野球部マネージャー  
岩手・葛巻高校出身

2005年岩手県生まれ。葛巻高校出身。趣味/筋トレ、好きな食べ物/学食のカツカレー、好きな言葉/自分に厳しく、推し/櫻坂46、aespa、LE SSERAFIM



本学では多彩な資格が取得できるのが魅力の一つで、中でも教員志望の学生が多い。松本実侑さんもその一人。10年以上も続けてきたバスケがあるからこそ、選手の活躍を陰で支えるマネージャーに魅力を感じたという。将来教員となった際に役立つことも多い。資格取得の勉強と部活、バイトを通してタイムマネジメントも身に付け、充実した学生生活を過ごしている。

用具を準備したり、スコアをつけたり、時にはキャッチボールの相手もこなす。「雑用が多いですが、皆が頑張る姿を見ると元気をもらえます。選手と一緒に喜んだり、悔しがったりできるマネージャーにやりがいを感じています」。部員からのうれしいサプライズがあったそう。「みんなでお金を出し合って誕生日にグローブを贈ってくれたのです」。松本さんの日頃の頑張りが部員の皆さんにもしっかり届いているようだ。

そんな松本さんの一番の目標は特別支援学校の教員になること。原点には小学校のクラスメイトの存在がある。「授業中突然叫ぶ子がいたのですが、仲間はそれにすることなくみんな仲良くしていました」。

特別支援学校の教員をめざして

選手からアスリートを支える側に  
小学2年からバスケを始め、中高で選手として活躍してきた松本さん。教員免許取得に向け勉強に集中したいの思いと、アスリートを支える側を経験したいの思いから、本学軟式野球部のマネージャーの道を選ぶ。「友だちと見学した時、明るく楽しい雰囲気だったので、入りました」。軟式野球部は学生が主体となりチーム作りを行っているが、近年活躍がめざましく昨年2年連続3回目の全国選抜大会出場を果たした。「8月の全国大会の2回戦でタイブレークとなり、延長1点差で負けて悔しい思いをしました。来年こそはと春季リーグに向け新キャプテンを中心にチームづくりをしているところです」。



一人暮らしで芽生えた「家族への感謝」  
資格を取るための勉強と、軟式野球部マネージャー、さらに週数回カフェでアルバイトも行っているが、「カフェでは接客マナー、言葉遣いのトレーニングにもなり、今後面接などでも役立つそうです」と語る。充実した大学生活の中で、自炊もするようになり自らの成長を感じる毎日という。「ごはん作り、送り迎え、たくさんのお金などこれまで私を支えてくれた親のありがたみを実感しています。特別支援学校の先生になる目標を叶えて家族に恩返ししたいです」と笑顔で語る。

トレーナーの資格を強みに  
大好きなサッカーに  
関わる仕事に就きたい

あきもと ゆうな  
秋元 優那さん

体育学科2年スポーツトレーナーコース・男子サッカー部マネージャー  
栃木・矢板東高校出身

2004年栃木県生まれ、矢板東高校出身。趣味/サッカー観戦、料理、推し/日本代表伊東純也、J3ツエーゲン金沢MF西谷和希、好きな食べ物/アイスクリーム特にチーズ味、好きな言葉/努力、地道にコツコツ、現在の目標/チームが4年までに全国大会で優勝できるように全力でサポートすること。



本学男子サッカー部は毎年250人ほどの部員を抱え、6つのカテゴリーからなる強豪チーム。吉井秀邦総監督、平山相太監督らの指導を求めて全国からレベルの高い選手が集まる。スタッフも揃うため特段マネージャー募集はしていない。しかし、そんなことで怯む秋元優那さんではない。吉井総監督に熱い思いを伝えて、マネージャーとなる。その時学んだのが「待っていても何も始まらない。熱量をもって自ら発信しなければ」との思いだった。

アスリートを支える人に最適な環境  
スポーツトレーナーコースで学ぶ秋元さんは、パフォーマンスを引き出すための身体の使い方、けがを防ぐ動き、メンテナンスなど興味は尽きないという。「学内にアスレティックルームにテーピング・リコンディショニング・温水と冷水プール・アスレティックトレーニングの4エリアあり、日本スポーツ協会やNATA・ATCの資格を持つアスレティックトレーナーが指導するので、トレーナーをめざす学生にとって恵まれた環境」と語る。授業で得た知



熱い闘いぶりに魅了され、本学へ  
「サッカーが大好きで、高3の時観た仙台大学の試合に衝撃を受けました」。全日本インカレでの明治大学との対戦。試合は延長戦となり、結果、ワンプレーで仙台大学が見事勝利した。「こんなにも最後まで全力で戦い抜くチームがあることに心打たれ、マネージャーとしてサポートするために本学に入ろうと決意しました」。トレーナー資格が取得できることも魅力だったという。そして入学後、吉井総監督に直談判、熱意が実り、念願のマネージャーとなる。「トップチームの試合に帯同するほか、練習の際の準備や片付け、SNSの更新などやることはたくさんありますが、いいプレイができた時の部員の笑顔やありがとうと感謝された時などやりがいを感じます」。

卒業後、Jリーグでの就職をめざす  
今シーズン、サッカー部は実に十数年ぶりに全日本インカレへの出場を果たせなかった。「今は来シーズンに向けて、気持ちを切り替え、みんな前を向いています。このままで終わらたくない。私が在学中全国大会で優勝できるように、卒業まで全力でサポートします」と力強く語る。サッカーへの情熱をベースに、部活で培ったマネジメントの経験に加え、トレーナーとしての知識と技術が強みの秋元さんがめざすのは「Jリーグの舞台で働くこと」。「一念岩をも通す」、秋元さんは熱量を持って自らの夢を伝えることで、Jリーグで活躍する場を手に入れるに違いない。

**宮城県内の同窓会支部が一本化、「宮城支部」が誕生します！**  
今、一つに！  
多くの皆さんで懐かしい集いを！

近年、母校仙台大学を取り巻く環境は大きく変化し、少子化に伴う受験者数の減少は待ったなしの状況であり、特に学生募集においては、法人・大学運営においても喫緊の課題であると認識されており、ことに、東北・北海道唯一の体育単科大学という最大の特徴をもとに、これまでその専門性をいかして教育界をはじめ各方面で活躍する卒業生を多数輩出してきた仙台大学の最も強みとする部分において、その立ち位置が危ぶまれてきており、継続審議されてきた本件について、この機会に宮城県内各支部の発展的な統合・一本化により、母校仙台大学のお膝元を支える確かな宮城県支部の充実を図る方向へ進むべきであると同窓会理事会においても重要議題として決することとなりました。

つきましては、現在、宮城県支部新体制組織構築準備を進めています。準備が整い次第、令和7年度に「新生！仙台大学同窓会宮城支部」の設立総会を開催いたします。仙台大学の地元の同窓生が一つになって、今、これからの仙台大学、現役学生を支援して参りたいと思います。今が支援する時となります。ご賛同の程、宜しくお申し込み申し上げます。宮城支部への結果・賛同については、掲載の二次元コードにて必要事項をご記入いただき4月25日(金)までにご回答をよろしくお願い致します。

宮城支部設立総会の準備が整い次第、改めてご案内申し上げます。

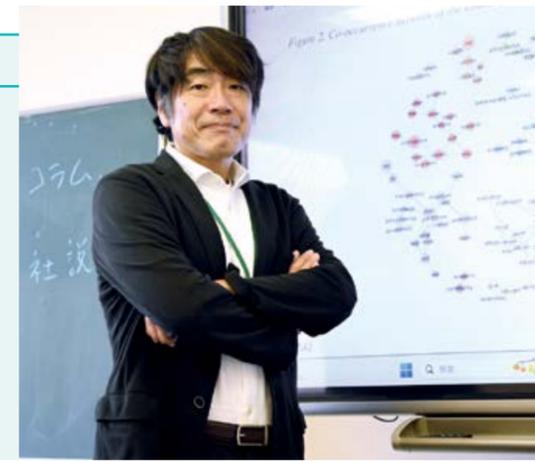


研究室より

社会情報研究室

# 「学生中心主義」がモットー 自分事ととらえ、課題解決できる力を身に付けてほしい

齋藤 長行 教授 スポーツ情報マスメディア学科



情報化社会の進展とともに最前線で活躍されてきた齋藤先生だが、社会人としての第一歩は意外にも製造業だった。「工業高校卒業後は日野自動車エンジン製造部に入社し、トラックの産業用ロボットのメンテナンスをしていました」。その後、音楽好きが高じて音楽教室を経営する傍ら、芸能プロダクション「サンミュージック」の新人開発部門でボイストレーナーに。教えるにはAKBメンバーもいるという。「次第に経営学へと興味が広がり、慶応義塾大学大学院の社会人向け通信課程に入りました」。学ぶことが面白くなり、修士、博士号課程へと進む中で、気が付けば情報分野のスペシャリストになっていた。研究テーマは「子供のインターネットの安全利用、情報化社会の進展とともに、社会情報学者としてシンポジウムの講師や有識者会議メンバーなど多方面から重用される存在と

情報化社会の進展とともに

- ◆山形県出身。慶應義塾大学経済学部通信教育課程卒業、中央大学大学院経済学研究科修士課程修了、慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科後期博士課程修了。博士(メディアデザイン学)。
- ◆2012年より経済協力開発機構(OECD)科学技術産業局(STI)のポリシー・アナリスト。2022年より総務省のICT活用のためのリテラシー向上に関する検討会の構成員。国際公共経済学会 第27回学会賞受賞。国立国会図書館非常勤研究員、お茶の水女子大学客員教授、青山学院大学客員研究員、慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究所リサーチャー、総務省情報通信政策研究所特別研究員ほか。
- ◆趣味はサッカー、シニアリーグで活動中、コーチの資格を有し地域の子供たちにサッカーを指導する。

**コロナ禍で5年待った「第13期同窓会還暦同期会」を開催致します。**  
〓40年の時が流れた懐かしの船岡の地にお集まりください！〓

第13期生の皆さん、準備が整いました。当日は午後3時に仙台大学に集まり同窓会執行部の案内で学内施設を見学し、懐かしの船岡の街を移動して会場へ。

今回、左記2名が発起人となり、左記の日程で開催の運びとなりました。

つきましては、参加申し込みは掲載の二次元コードから必要事項をご記入していただき、令和7年2月21日(金)までにお申し込み下さい。

日時 令和7年3月8日(土)  
15時〜 総会・大学案内  
17時〜 還暦同期会  
会場 ホテル原田inさくら(船岡駅前)  
柴田町船岡中央1-1-13  
第13期還暦同期会 代表幹事 奥山正彦  
お問い合わせ先 幹事 土屋浩明  
090-4040491-7097



「令和6年3月開催の第12期還暦同期会集合写真」から



学生の成長に役立つ授業をめざして

キャリアの中で最も刺激的だったのが、ライン未来財団に勤務していた頃という。「当時、ラインをよりよく活用してもらうための方法を考える戦略的なコミュニケーション活動、「パブリックリレーション」を担当しました。ベンチャー企業だったこともあり、自由な発想で創り上げ、発信する仕事に醍醐味を感じました」。このほか、キャリア大手KDDIや経済協力開発機構(OECD)から派遣され3年間フランスで活動するなど最先端のビジネスシーンでの豊富な体験があることが現在の研究にも生かされている。授業では「学生中心主義が指導方針で、学生が自分事としてとらえ、課題を発見し、解決できる力が得られるよう授業を進めています」。特徴的なのは、次の授業までにテキストを読み、その内容を200文字に要約してくる課題を出すこと。それをもとに質問やディスカッションを行う。「物事を抽象化するスキルはすべてに活用可能で、多くの場面で役立ててほしい」と語る。

2024年7月、齋藤先生が中心となり、学生と教員を対象に実施した「AIの

AI活用に関する新たな知見を発信

**仙台大学同窓会青森県同窓会全員へ支部総会開催のご案内**

東北地区でも多くの同窓生を有する青森県において、昨年度、「青森支部」を設立しました。今年初めて青森県内同窓生全員へご案内します。仙台大学同窓会は現在全国に35の支部があり、仙台大学の建学精神に基づき会員相互の親睦を図り、仙台大学の発展に寄与すること目的としています。

是非、多くの皆さんにお集まりいただき最高の時間を過ごしたいと思えます。

つきましては、参加申し込みは掲載の二次元コードから必要事項をご記入していただき、令和7年2月28日(金)までにお申し込み下さい。

日時 令和7年3月22日(土) 16時から  
会場 青森市文化観光交流施設  
「ねぶたの家 ワ・ラッセ」  
青森市安方1-1-1  
017-7521-1311  
お問い合わせ先 青森支部長 小沼卓志  
090-1523910-673



「青森支部総会会場 青森市文化観光交流施設 ねぶたの家 ワ・ラッセ」から



教育利用状況と意識に関する全国調査」がマスコミにも取り上げられ、話題となった。その後、波及効果も生まれたという。「国立情報研究所のシンポジウムで、文部科学省をはじめ教育の専門家約1500人の前で講演を行いました」。今後はガイドブックを発行する予定が進んでいる。「AIはもはや取り除くことができず、インターネット同様私たちの暮らしになくしてはならない存在になるでしょう。であれば、適切に活用することで付加価値として、社会に還元したりできる人材も必要とされます。AIに関する教育や研究、政策への提言などさまざまな広がりが見られます」。先ごろの調査をベースに、スポーツ情報マスメディア学科の学生たちも巻き込んで調査・研究を継続する方針で、「本学から新たな知見を発信していきたい」と意気込みを語る。



**コロナ禍5年、支部開催準備を進めてきた「長野支部」が令和7年度にスタートします！**

長野支部は令和7年度に支部総会を開催いたします。現在、仙台大学の同窓会の支部は全国に35支部、全国の中心に位置する長野支部をまとめているのが、第9期生の青木隆幸支部長です。この度、長野支部総会の目的が立ったこと、長野県内の皆様へ、左記の通りご案内申し上げます。

つきましては、参加申し込みは掲載の二次元コードから必要事項をご記入していただき、令和7年5月2日(金)までにお申し込み下さい。

日時 令和7年6月14日(土)  
受付 17時・総会 17時30分  
懇親会 18時30分  
会費 6000円  
会場 シティガーデン ホテル信濃路  
長野市中御所岡田町13-1-4  
026-22615212  
お問い合わせ先 長野支部長 青木隆幸  
090-517714326



「1998年 長野にオリンピックが来た」青木氏同窓会HP掲載写真借用



同窓会に関するお問合せは下記事務局へ  
(問合せ・連絡先)  
仙台大学同窓会事務局  
(仙台大学内)  
〒989-1693  
柴田郡柴田町船岡南2丁目2-18  
TEL・FAX(直通) 0224-55-1449  
事務局長 佐藤一弘(12期生)  
E-mail  
kz-sato@sendai-u.ac.jp  
「仙台大学同窓会」検索  
氏名・住所変更  
E-mail  
suaa-kanri@sendai-u.ac.jp

コラム

# 卒業単位 224

～学ぶ喜びを与えてくれた仙台大学～

宮城明泉学園

鈴木 翔さん

平成18年度健康福祉学科卒業



私の卒業単位は「224」です。自称、学費を最も有効活用し卒業したOBとして、入学のエピソードから現在までの変化と気づき、今もなお学んでいる事について記します。

私は、岩手の専修大学北上高校から国公立大学を目指しましたが受験に失敗、途方に暮れていると同じ野球部の大親友から「俺と一緒に仙台大学に行くが!」と笑顔で一言。介護専攻の私にとって、体育系大学の健康福祉学科で学んだ方がやりたい介護にFitしているのでは?と気づき進学。彼は自主練や飲み会など、最も多くの時間を共にした私の恩人です。

入学後、履修登録の準備中、介護福祉士と同時に教員免許も取得可能と知った瞬間、夢だった「体育の先生になりたい気持ちに火が灯りました。私は、勉強の方法は人並み以上に研究しましたが苦手。しかし、大学は憧れの仕事や夢を叶えるための講義が自分で選べ、「好きを学べる」夢のような環境。新鮮な学びが楽しく文武両道、教員免許と介護福祉士などを取得し224単位、私の最高到達点です。

また、硬式野球部では学生コーチ、ほぼ毎日5コマ講義、教育・介護実習など、グラウンドを不在にしがちな私の背中を押してくれた仲間と森本監督には感謝しか

ありません。

当時は就職氷河期、私の選択は、幼児の発達の特性に応じた「運動あそび」を実践していく専門機関に13年。さらに、宮城明泉学園(幼稚園)に勤め5年。幼稚園が目指す子供たちの「自立」と「幸せ」のため、人生で初めて出会う体育の先生として幼児の未来を描き、人格形成に携わる天職と出会いました。

また、仙台大学の原田健次先生と出会って「乳幼児運動あそび指導者育成プログラム」を学び続けて5年。明泉幼稚園では、原田先生からの教えを元に研究・ブラッシュアップできる環境が整っており、30〜50人の大人数でも「心が動く」カリキュラムと、十分な活動量が確保される「運動あそび」を展開しています。

私は、仙台大学の仲間、先生、職員のみならずままとの出会いによって私の人格が形成され、今を生きています。進学を許してくれた両親への感謝と、今もなお学ぶ喜びを与え続けてくれる仙台大学に出会えたことは、私の人生のかけがえのない宝物です。

## 仙台大学同窓会の日本酒

スペイン酒類国際コンクール「CINVE2022」金賞受賞  
国際日本酒コンクール「Oriental Sake Awards 2022」銀賞受賞/香港

本学の学生と蔵人により醸しだされた純米大吟醸です。味わいは酵母由来の香りを控えめにし、造り手のこだわりを感じ取れるように仕上げた究極の食中酒です。皆さんの過ごした青春時代を思い出しながら、あるいは親しい方と過ごした仙台大学を感じながら、また語らいながら、味わっていただきたいと思えます。



使用米：宮城県産ひとめぼれ100%  
精米歩合：50% アルコール分：16度

酵母：宮城酵母

酒質：日本酒度/＋4酸度/1.6アミノ酸/0.1

保存方法：-5度～-5度の冷蔵管理

価格：1800ml・販売価格(税込)：2,959円

500ml・販売価格(税込)：998円

### 〈購入について〉

以下の販売店様にご注文下さい。

丸正酒店(宮城県角田市角田字町177)

TEL 0224-62-2002 FAX 0224-62-0625

## 仙台大学同窓会オリジナルグッズ

ポロシャツ、バスタオル、フェイスタオル、ボールペン、ステッカーが新たなデザインで登場! 売り上げの収益は全て学生の活動支援に活用されます。

ポロシャツ サイズ/S・M・L・LL 2,500円

フェイスタオル サイズ/H33×W86cm 1,000円

バスタオル サイズ/H70×W140cm 3,000円

多機能ボールペン 1,500円

仕様/黒・赤・シャープペン

同窓会ロゴステッカー 600円

詰め合せセット ポロシャツ・フェイスタオル・

バスタオル・多機能ボールペン・ステッカー 8,000円

### 【お申込み方法】

右のQRコードから注文書をダウンロードし、必要事項をご記入の上、FAX又はEメールでお申し込みください。電話でのお申込みも可能です。



### 〈お申込み・お問い合わせ〉

一般社団法人仙台大学同窓会

TEL・FAX (兼用) 0224-55-1449

Email kz-sato@sendai-u.ac.jp

## ■お問い合わせ内容と主な関連部署

入試(学内見学)関係	入試課	0224-55-1017
求人、就職指導関係	就職課	0224-55-1017
学生生活関係	学生生活課	0224-55-3019
奨学金関係	奨学金事務課	0224-55-1038
成績、各種証明書発行関係	教育企画課	0224-55-1086
資格取得の支援関係	資格支援課	0224-55-1307
大学院(入試含む)関係	大学院事務課	0224-55-5706
同窓会関係	同窓会事務局	0224-55-1449

## 仙台大学(代表)

〒989-1693 宮城県柴田郡柴田町船岡南2丁目2-18

TEL 0224-55-1121/FAX 0224-57-2769

受付時間:平日 8:30~17:15(受付時間外は留守番電話に切り替わります)

今後も、仙台大学のトピックスや在学生・卒業生の活躍を皆様にお伝えすべくより良い紙面づくりのため、皆様からのご意見・ご感想をお待ちしております。アンケートにご協力をお願いいたします。

アンケートはこちら



卒業生の住所変更はこちら



※在学生の住所変更は学生生活課にお問い合わせください。

仙台大学HP



Instagram



X(旧Twitter)



Facebook



仙台大学は2020年3月11日付で「公益財団法人日本高等教育評価機構が定める大学評価基準に適合している」と認定されました。